



学校教育目標 「気づき、考え、実行する児童の育成」
「進んで学ぶ」 「自分も友達も大切にする」 「元気いっぱい何事にもチャレンジ」

卒業生、在校生で作上げた最高の舞台 “卒業式” ～6年生の皆さん ご卒業おめでとうございます。～

本日、令和6年度中川副小の卒業証書授与式を行いました。今日の卒業式は、本当に最高の舞台となりました。卒業生、在校生すべてが、心をつにし、精一杯頑張りました。その姿に感動し、胸が熱くなりました。

6年生が卒業し、少し寂しくなった中小です。リーダーが去るというのはこんなに心細く、寂しいものだなあと感じました。在校生にとっても同じでしょう。そして、5年生にとっては、さみしさと共に、次のリーダーとならなければならない大きなプレッシャーも出てきているのではないのでしょうか。

卒業式の式辞では、5年生、6年生の時の思い出と言葉を送りました。

「あなたの夢は何か、あなたが目的とするものは何か、
それさえしっかり持っているならば、必ずや道は開かれるだろう。」

この言葉は、インドの独立運動を指導し「インドの独立の父」とされている
マハトマ・ガンディー（ガンジー）の言葉です。

ガンディーは南アフリカで弁護士をする傍らで公民権運動に参加し、インドのイギリスからの独立運動を指揮しました。ガンディ自身、自分の人生の目的を「世界中の独立自尊の心を持った大人や子供をたくさん育て、心身共に健全な世界を創る」として、自分の目標を貫き、実現に向けて活動し、生涯を閉じました。 ※ 独立自尊…自他の尊厳を守り、何事も自分の判断と責任で行うこと

これから、子どもたちが様々な選択をしながら自分の人生を歩いていくときに、一人一人が欲する夢や目的が様々な選択や決断の根拠となり、先に進むことができると考えたからです。

以前に、車いすテニスプレーヤーの小田凱人さんのことを話した時がありました。小田さんは、悪性のがんに苦しむ中、ある出会いをきっかけに、車いすテニスをすることを目標に乗り越え、今でいう十歳を祝う会で「車いすテニスで世界一になって両親に恩返しをする」と決意表明し、それを成し遂げるために頑張り、パリ 2024 パラリンピック車いすテニス男子シングルスで、みごと金メダルを獲得しました。車いすテニスプレーヤーとしての人生が開け、今もなお、「病児と戦っている子供たちのヒーロー的存在になりたい」と実績を積みながら前進しています。

有名な人にならなくてもいい、自分の人生の節目節目でしっかり考え、選択し、自分の力で歩む人になって欲しいと思っています。在校生にも、同じ気持ちです。

